

まちのわだ い

コロナワクチン4回目接種が始まる

〜重症化予防のための追加接種が始まりました〜

新型コロナウイルスの追加接種が6月30日（木）、集団接種会場の伯耆町農村環境改善センターで始まりました。初日は197人が接種を受けました。

今回対象となるのは、3回目の接種日から5カ月以上経過した60歳以上の約3,500人及び18歳以上60歳未満の基礎疾患を有する人等で、9月末までを目途に集団接種を実施する予定です。

12〜2月に3回目の接種をした60歳以上の人にはすでに接種券を発送しており、3月中旬に接種をした人には7月末頃に、4月中旬に接種した人には9月初旬頃に順次接種券を発送する予定です。なお、18歳以上60歳未満で4回目の接種を希望する場合は、事前に役場窓口または電話での接種券交付申請が必要となっています。

また、今回は町内医療機関での個別接種も実施しており、いずれも12歳以上であればワクチン接種が初めての人の、2回目、3回目の人も接種可能です。（詳しくは、本紙6ページへ）



ワクチン4回目接種を受けました

中学生トークプログラムを実施

〜地域の人との交流を通して

挑戦する力を〜

鳥取県教育委員会、伯耆町教育委員会は6月28日（火）、伯耆町民岸本体育館で岸本中学校3年生を対象に、地域の人や大学生と交流する「中学生トークプログラム（CHAプログラム）」を実施しました。

このプログラムは、中学生が地域の大人や大学生に出会い（CHANCE）、多様な価値観と出会うことで自分を変え（CHANGE）、少し先の目標を持って挑戦する（CHALLENGE）姿勢を養うことを目的として、伯耆町で毎年実施されています。

当日は岸本中学校3年生、島根大学生、地域住民合わせて130名が参加し、7名ずつのグループに分かれて「好きな言葉」「生きていく上で必要だと思うものは」といったテーマで話し合いました。参加した中学生は「自分たちが経験したことのない将来のことについて話してくださって、ためになりました」と話しました。

このプログラムは溝口中学校でも今年度2月に開かれる予定で、教育委員会事務局ではこのプログラムに地域の大人として参加していただける方を募集しているとのこと。



テーマ「好きな言葉」について語り合いました

伯耆町消防団

鳥取県操法大会優勝

〜15年ぶりの優勝 全国大会へ〜

伯耆町消防団は7月3日（日）、鳥取県消防学校で行われた第68回鳥取県消防ポンプ操法大会に出場し、小型ポンプ操法の部で優勝しました。

この大会は、消防団員が迅速かつ的確に対応するために必要な技術の向上を目的として毎年開催されています。

今回、伯耆町から幡郷地区を管轄する消防団第6分団が小型ポンプ操法の部に出場し、1隊5人で競技を行いました。火元に見立てた火点を落とすまでの速さや選手の動作が審査され、見事優勝となりました。伯耆町消防団が小型ポンプ操法の部で優勝するのは、平成19年以来15年ぶりです。

鳥取県大会優勝を受けて、伯耆町消防団第6分団は10月に千葉県で行われる全国消防操法大会に出場します。



操法競技中の様子